

入札広告

次のとおり条件付一般競争入札に付します。

平成22年 2月12日

契約責任者 本州四国連絡高速道路株式会社

岡山管理センター 所長 池 島 秀 樹

1 業務の概要

(1) 業務名 平成22年度鴻ノ池SA等汚水処理設備点検管理業務

(2) 業務場所 岡山県倉敷市曾原（水島IC）及び岡山県倉敷市児島塩生（鴻ノ池SA）

(3) 業務内容

本州四国連絡高速道路株式会社岡山管理センターが管理する瀬戸中央自動車道の水島IC及び鴻ノ池SAに設置している汚水処理設備の点検管理業務を行う。

(4) 業務概要

1) 請負者は、浄化槽技術管理者免許を有する技術者1名を専任し、本業務に従事させる。

2) 請負者は、別表-1対象設備、別表-2点検項目・頻度の点検等業務を行う。

(5) 履行期間 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(6) 入札方法

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の5に相当する金額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額とする。）をもって落札価格とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の105分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

(7) その他

本業務は、入札参加者の競争参加資格を入札前に審査し、その後落札者を決定する業務である。

2 競争参加資格

当該業務に係る競争に参加する者に必要な資格を有する者は、次に掲げる条件を全て満足し、かつ本州四国連絡高速道路株式会社（以下「本四会社」という。）による当該業務に係る競争参加資格確認の結果、資格があると認められた者とする。

(1) 次の①から⑤までに掲げる者でないこと。

① 契約を締結する能力を有しない者（未成年者、成年被後見人、被保佐人又は被補助人。ただし、未成年者、被保佐人又は被補助人にあって、契約締結のために必要な同意を得ている者を除く。）及び破産者で復権を得ない者

② 過去2年以内において次のイからトまでの一に該当したと認められる者

イ 契約の履行に当たり、故意に製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者

- 公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格を害し、若しくは不正の利益を得るため連合した者
 - ハ 落札者が契約を締結すること又は契約者が契約を履行することを妨げた者
 - ニ 監督又は検査の実施に当たり、社員の職務の執行を妨げた者
 - ホ 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者
 - ヘ その他本四会社に著しい損害を与えた者
 - ト イからへまでのいずれかに該当する事実があった後2年を経過しない者を、契約の履行に当たり、代理人、支配人その他これらに準ずる者として使用した者
 - ③ 経営状況が著しく不健全であると認められる者
 - ④ 競争参加資格審査申請書及びその添付書類の重要な事項又は事実について虚偽の記載をし、又は記載をしなかった者
 - ⑤ 商法その他の法令に違反して営業を行った者
- (2) 平成21・22・23年度物品購入契約等参加資格の審査において「役務の提供」のうち、競争参加資格確認結果通知の日までに「各種設備等の保守・点検管理」で資格を有すると認められた者で岡山管理センターに登録があること。なお、競争参加資格を有しない入札参加希望者は、速やかに資格審査申請を行う必要がある。

資格審査申請に関する問い合わせ先は、次のとおり。

〒701-0304

岡山県都窪郡早島町早島2985

本州四国連絡高速道路(株) 岡山管理センター 総務課

電話 086-483-1100(代表)

- (3) 開札時点において、当社から指名停止を受けていない者であること。
- (4) 岡山県に本社、支社または営業所を有すること。
- (5) 過去10年間(平成11年度以降)に元請けとして完了した下記業務の実績を有すること。
 - ・ 処理対象人員2,001人以上の汚水処理設備点検管理技術業務
- (6) 過去5年間(平成16年度以降)に元請けとして完了した下記業務の実績を有すること。
 - ・ 岡山県における汚水処理設備点検管理技術業務
- (7) 浄化槽技術管理者免許を有し、かつ別添に示す点検管理員に該当する者で、過去10年間(平成11年度以降)に前記(5)の同種業務に1年以上従事した経験を有する技術者を選任可能であること。
- (8) 浄化槽法第48条第1項の規定による倉敷市長発行の「浄化槽保守点検業者登録証」を有する者。

3 競争参加資格確認申請書の作成及び提出に関する事項

- (1) 申請書等の提出
入札参加希望者は、技術資料を添付した競争参加資格確認申請書(以下「申請書等」という。)を提出するものとする。
- (2) 申請書等の作成
技術資料は技術資料作成要領に基づき作成するものとする。

(3) 申請書等の入手方法

入札参加希望者は、技術資料作成要領、入札広告の写し、契約書案、入札及び見積り手引き、
函面、仕様書、設計書（以下「設計図書等」という。）を入札広告の日から平成22年2月23
日までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日午前10時から午後4時まで、上記2（2）の場
所において、CD-Rにより無料で入手できる。

(4) 申請書等の提出期間及び提出場所

申請書等の提出期間及び提出場所は、下記のとおりとする。

- ①提出期間 平成22年2月12日（金）から平成22年2月23日（火）までの土
曜日・日曜日及び祝日を除く毎日午前10時から午後4時まで
- ②提出場所 2（2）に同じ。持参のみ。郵送又は電送は受け付けない。
- ③申請書等の確認 受付時に簡単なヒアリングを実施するので、提出する資料について内容
を理解し、説明できる者が持参すること。

4 入札執行及び開札の日時並びに場所等

- (1) 開札日時：平成22年3月26日（金）16：00 予定
- (2) 場 所：記2（2）の会議室
- (3) 方 法：入札書は持参すること。

5 その他

- (1) 提出された申請書等は返却しない。
- (2) 契約手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨
- (3) 入札保証金及び契約保証金 免除。
- (4) 入札の無効
本広告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書、入札者に求められる
義務を履行しなかった者の提出した入札書は無効とする。
- (5) 契約書作成の要否 要。
- (6) 落札者の決定方法
予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。ただし、
上記5（4）に該当する者を落札者としていた場合は、落札決定を取り消すものとする。
- (7) 手続きにおける交渉の有無 無。
- (8) 詳細は入札説明書等による。

平成 年 月 日

本州四国連絡高速道路株式会社
岡山管理センター所長 池 畠 秀 樹 殿

業者コード（注1）

住 所

商号又は名称

代表者氏名

電話番号

印

競争参加資格確認申請書

平成 年 月 日付けで、入札広告のありました「平成22年度鴻ノ池SA等汚水処理設備点検管理業務」に係る競争に参加する資格について確認されたく、下記の書類を添えて申請します。

なお、契約を締結する能力を有しない者（未成年者、成年被後見人、被補佐人又は被補助人。ただし、未成年者、被補佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者を除く。）及び破産者で復権を得ない者でないこと並びに添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

1. 技術資料 1部

（注1）業者コードは、当社より送付された「平成21・22・23年度物品購入契約等参加資格の資格認定通知書」に記載されているコード番号を記載してください。

別添

【点検管理員の資格】

点検管理員は、表－Aに示す資格及び実務経験等の要件を満足するものとする。

高校、高専・専門、短大卒者は、「実務経験年数」と「大学卒業後の年数」に関して、高校卒は4年、高専・専門、短大卒は2年をそれぞれ加算するものとする。

表－A

卒業区分	資 格	実務経験 年 数	点検管理の 経験年数	大学卒業 後の年数
機械、電気、水道・ 衛生等の関連学科	浄化槽技術管理者の資格を有する者	5年以上	1年以上	8年以上
関連学科以外		7年以上	1年以上	10年以上

別表－1 対象設備

項 目		鴻ノ池 SA	水島 IC
設備概要	処理対象人員	2,338人	36人
	処理水量	250m ³ /日	1.8m ³ /日
	処理方式	合併処理	単独処理
	処理方法 又は対象設備	長時間曝気方式＋三次処理（接触酸化 ＋凝集沈殿＋急速濾過＋活性炭吸着）	分離接触曝気方式
水 質	BOD	10mg/L以下	90mg/L以下
	全窒素	60mg/L以下（日平均）	－
	リン	5mg/L以下	－

別表-2 点検項目・頻度(その1) 鴻ノ池SA

区分	点 検 箇 所 装 置	点 検 頻 度			備 考
		日	月	年	
前 処 理 施 設 (鴻 ノ 池 S A 上 下 線 共)	流入管渠、ます			○	
	沈砂槽	○	○	○	
	スクリーン	○	○	○	
	バイパスゲート			○	
	流入ポンプ槽	○	○	○	
	弁類			○	
	各部配管			○	
	各槽			○	
	盤類			○	
	圧送ポンプ	○	○	○	
	破碎機	○	○	○	
	攪拌ブロワ	○	○	○	
	全体		○	○	
	本 処 理 槽	移送ポンプ	○	○	○
循環ポンプ		○	○	○	
濾過ポンプ		○	○	○	
濾過逆洗ポンプ		○	○	○	
消泡ポンプ			○	○	
第一沈殿槽スカムポンプ		○	○	○	
高置水槽送水ポンプ		○	○	○	
活性炭吸着塔送水ポンプ		○	○	○	
活性炭吸着塔逆洗ポンプ		○	○	○	
PH調整槽用アルカリ剤注入ポンプ		○	○	○	
凝集剤注入ポンプ		○	○	○	
補助凝集剤注入ポンプ		○	○	○	
中水用消毒剤注入ポンプ		○	○	○	
接触酸化槽用ブロワ		○	○	○	
曝気槽用ブロワ		○	○	○	
調整槽用ブロワ		○	○	○	
PH調整槽攪拌機		○	○	○	
薬品混和槽攪拌機		○	○	○	
フロック形成槽攪拌機		○	○	○	
補助凝集剤タンク攪拌機		○	○	○	
ベビーコンプレッサー		○	○	○	
曝気機			○	○	
最初沈殿槽污泥掻寄機		○	○	○	
凝集沈殿槽污泥掻寄機		○	○	○	
制御盤				○	
計装盤				○	
濾過器・吸着塔制御盤				○	
弁類			○	○	
各部配管				○	
各槽				○	

別表-2 点検項目・頻度(その2) 鴻ノ池SA

点 検 箇 所		点 検 頻 度			備 考
区分	装 置	日	月	年	
本 処 理 槽	流量調整槽	○	○	○	
	曝気槽	○	○	○	
	循環槽	○	○	○	
	最初沈殿槽	○	○	○	
	接触酸化槽	○	○	○	
	薬品混和槽	○	○	○	
	凝集沈殿槽	○	○	○	
	急速濾過廻り		○	○	
	活性炭吸着塔廻り		○	○	
	消毒槽	○	○	○	
	放流槽	○	○	○	
	汚泥濃縮槽	○	○	○	
	汚泥貯留槽	○	○	○	
	栄養剤タンク(メタノール)	○	○	○	
	消毒剤タンク(次亜塩素)	○	○	○	
	アルカリ剤タンク(苛性ソーダ)	○	○	○	
	凝集剤タンク(液体硫酸バンド)	○	○	○	
	補助凝集剤タンク	○	○	○	
全体	場内環境整備		○	○	
水 質 検 査	流入水	○	○	○	
	曝気槽	○	○	○	
	接触酸化槽	○	○	○	
	凝集沈殿槽	○	○	○	
	放流水	○	○	○	

※ 鴻ノ池 SA 点検頻度の日点検は、週4回

別表-2 点検項目・頻度(その3) 水島IC

点 検 箇 所		点 検 頻 度			備 考
	装 置	日	月	年	
	流入管渠、ます		○	○	
	沈殿分離室		○	○	
	接触曝気室		○	○	
	沈殿室		○	○	
	消毒室		○	○	
	ブロワ		○	○	
	全体		③	○	
水 質 検 査	流入水		○	○	
	接触曝気室		○	○	
	放流水		○	○	

※ ③：3ヶ月に1回